

会議名	第5回地域計画分科会		公開
日時	令和元年11月13日(金) 午後7時30分～午後9時00分	場所	一鍬田公民館 2階 会議室
出席者	(委員) 伊田雅美、小林勝則、加藤久美子、山本いづみ、井上こずえ、 滝川多嘉子		
	(事務局) 自治振興課：川合主任 自治振興事務所：松井所長、森下主事		
欠席者	(委員) 夏目祐輔	傍聴者	0名
配布資料	次第		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。

2 ワークショップ

・地域活動団体との意見交換会のまとめ

地域活動団体との意見交換会において確認した活動団体の現状、いただいた意見についてまとめを行い、地域計画の活用に向けて検討を行った。

まず、意見交換会における各分科会委員の意見は以下のとおりである。

<主な意見>

- (委員) 多数の参加があった。団体同士の交流が深められたらよかったという反省点。少し時間が足りなかった。
- (委員) 人手不足、後継者不足が問題。資金よりも人の問題の方が深刻。資金があっても人がいなければ活動できない。
- (委員) 高齢者が多くなっており活動が継続できない。どうすれば若者に関わってもらえるか。
- (委員) 地域活動に携わろうとする人が少なくなっている。個人それぞれ生活することで手いっぱい。
- (委員) 多くの人が集まっていた、各団体2名ずつくらい来た。区長さんも来てくれた。活動に関わる人たちの熱い想いを共有できた。

各分科会委員からいただいた意見における今後の課題をまとめた。

- ・様々な素晴らしい活動を地域に知ってもらうためにはどうしたらいいか。
- ・若者に制度を知ってもらうためにはどうしたらいいか。
- ・様々な活動をどう地域計画に結びつけていくか。

また、団体から出た意見に関するまとめを行った。

<主な意見>

- (委員) コスモスの小径は、補助は受け取らないと聞いたが、実際は活動資金の工面に困っているという話もある。
- (委員) 菜の花は、お金はかからないが、手間（人手）がかかる。
こども園の子たちに協力してもらい、種まきするなどして手間を減らす。
黒田の菜の花は年々増えていきそうであるが、それだけ耕作をしていない田畑が増えてきているということ。何か田畑で作物を育てられないか（遊休農地の活用）。
- (委員) 八名丸里芋をつくるのはどうか。
- (委員) 八名井のような砂地の土はいいが、田のような土で里芋をつくるのは、土が絡みついてしまい、収穫が大変になる。
- (委員) 作物をつくるとなると、誰がつくるのか、管理はどうするかなど、考える必要がある。
- (委員) 他の活用方法となると、太陽光発電か。
- (委員) 山を崩してまで太陽光をやるよりは畑の方がいい。農地法の許可の関係もある。
畑の太陽光は赤字になるのでやる人が少なく、今年度中にやれば採算が取れると業者が売り込みしてる。
- (委員) 団体意見で、草刈りすると、翌年度市が刈ってくれなくなるというのは本当か。
- (委員) おそらく、直営班が、刈ってある場所は翌年度刈らなくなるということでは。
- (委員) 誰がやればいいのか。人はいないが草はどんどん生えていく。草刈り隊を結成すべきか。
- (事務局) 拠点を利用した人材バンクを立ち上げ、その活用の中で草刈りのマッチングということも地域計画に例示されている。遊休農地で何を植えたらいいかというの、地域拠点で情報を得ることも考えてはどうか。
- (委員) そういったことを進めるには、まずは情報発信が重要。前回、活動団体から聞いた話を地域の皆さんに知ってもらおう意味で、地域協議会だより等でお知らせしてはどうか。
農地の活用という観点よりも、計画の柱となっている食農という観点で議論すべき。共育も学校との関わり方を明確にする必要がある。
- (委員) 様々な課題がある中で協議会のできることは何か。
- (委員) 様々な課題を共有し、それを解決するために活動することを促すことではないか。

交付金に関する意見については、以下のとおりであった。

<主な意見>

- (委員) プレゼンが大変。人件費を対象にしてほしいという話があった。また、交付金をそれぞれの行政区に交付し、活用してはどうかという話も出た。
- (委員) 各行政区に交付することは、難しいではないか。
- (委員) 人件費を交付金で出していたら、それだけで30万円すぐに終わる可能性もある。また、人件費に関する基準をどのように定めるべきか。
- (委員) 来年度の交付金事業審査におけるプレゼンについては、申請額10万円未満はプレゼン省略制度を新設する。

・今後の地域計画分科会について

今後の地域計画分科会にて検討すべきことについて、以下のとおり意見が挙がった。
＜主な意見＞

(委員) 地域計画ですぐに取り組める、取り組むべき内容は何か。

(委員) 公共交通に取り組むべきだと思う。

(委員) 同じく。環境の柱の中で取り組むのは、公共交通に絞った方がいいと思う。

人…女性の活躍を新たに地域計画に加えてはどうか。

人材バンクに関連して、地域活動団体の取り組みを八名地域の人に知ってもらうため、地域拠点において団体の活動をPRしてはどうか。

広報…茶話会でつなげる。

安心安全…八名青パト隊さんによる活動継続、AEDの設置継続、地域意見交換会でも意見が出たように、学校周辺の道路整備も考えたい。

食農…農地の活用を考えていくべき。

防災・減災…今年度配布した防災旗の活用方法を周知する必要がある。

自主防災会が各区にあるが、地域全体の組織ではない。

八名地区の自主防災会連絡会を提案してみたらどうか。(千郷地区にある連絡会をモデルとして)

歴史・伝統…宇利城、テレビでやってた頃は人が来たが、今は減ってしまった。

維持管理など中心になる人が呼びかけしないと、荒れ放題になってしまうため、八名地区全体で方向性を出す必要がある。情報交換、情報共有を行うべき。

また、史跡をめぐるルートマップの作成も検討。

(委員) 行事ごとは男性が出席する慣例がある。

(委員) 女性が参加、活躍できるような形に変えていく必要がある。

公共交通に関して

(分科会長) 公共交通に関する茶話会を1月に開催したいと思っている。

(委員) 茶話会の後、それをどう活かすのかを予め考えておいた方がいい。

(委員) 事前に質問を投げかけられるようにした方がいい。

(分科会長) では小林委員に質問状をつくってもらい、事務局を通じて投げかける。

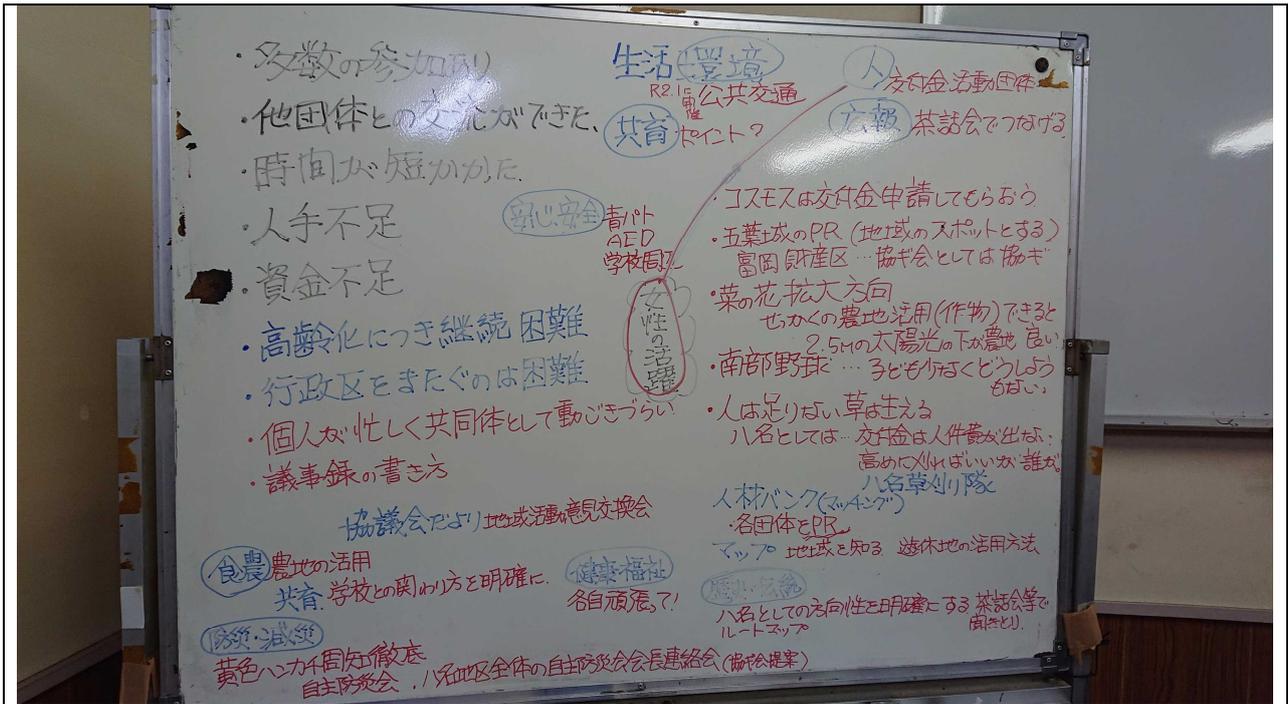
日にちはいつにするか。1月がよいと思われ、人が集まりやすいマルシェでの開催はどうか。

(委員) 候補日として、1月11日(土)はどうか。(候補日でよいという意見多数)

(分科会長) 1月11日(土)で予定することとする。

(事務局) では、公共交通対策室に1月11日で聞いて、よければその日で開催する。

(分科会長) 他地区の状況も聞いてみたいため、内容に盛り込んでほしい。



3 その他

- ・ 次回の地域計画分科会について

次回の地域計画分科会は、令和元年12月2日(月)19時30分から一鍬田公民館2階会議室にて開催することとなった。

4 閉会